

令和5年度6月補正予算概要

市長、市議会議員選挙の4月執行に伴い、当初予算を骨格予算として編成しておりましたので、今回の6月補正予算につきましては、敦賀の「あたらしいステージ」の実現に向けた3つの基本方針を柱とし、喫緊の課題への対応や、各事業の継続性にも配慮した編成といたしました。

初めに、エネルギー・食料品等の物価高騰対策として、保育園や学校等の給食材料費高騰分を支援する経費を計上するとともに、市内の中小事業者等を支援する電子クーポン「つるが割」を発行し消費喚起を図ります。

次に、基本方針一つ目の「**地域経済のあたらしいステージ**」につきましては、敦賀港の利便性向上のため、福井県が鞠山北岸壁に整備する新たな多目的クレーンの費用の一部を負担します。

また、現在、アクアトム1階にある敦賀観光協会の事務所を、氣比神宮に近接するカグ〜ル2階に観光案内所機能を備えた事務所として移転するための補助を行います。

さらに、北陸新幹線敦賀開業に向け、民間主体で計画されている開業100日前のカウントダウンイベントや開業当日のイベントを支援します。

二つ目の「**子育て支援のあたらしいステージ**」につきましては、保護者や保育士の負担軽減のため、保育園等における使用済みおむつの自園処理を推進します。

また、地域で子ども等を見守り、支援できる体制の強化を図るため、居宅訪問や食事の提供等を通じて子どもの状況把握を行う民間団体に対して補助を行います。

そして、児童生徒にとってよりよい学校給食を推進するため、学校給食センターの更新に着手し、基本計画を策定します。

三つ目の、「市民の安心、身近な生活のあたらしいステージ」につきましては、交通弱者の買い物や医療機関への移動手段を確保するため、新たにデマンド型コミュニティタクシーの運行を含めた地域公共交通計画と、その実施計画となる運行計画を策定します。

また、障がいのある人もない人も互いに一人ひとりの尊厳を尊重し合い、全ての市民が安心して暮らすことができる共生社会の実現を目指すため、手話講習会の開催や遠隔手話通訳サービスの導入等を行います。

その他に、基本方針以外の主な事業といたしましては、一般会計では、ひばりヶ丘町及び萩野町における町界町名地番整理を行い、住所の2重表示解消を進めます。水道・下水道事業各会計においては、国庫補助の内示決定を受けた建設改良工事等を行います。

これらの結果、今回の補正予算額は、一般会計が29億6,975万6千円、特別会計が427万円、企業会計が4億4,210万円となり、補正予算総額で34億1,612万6千円の規模となりました。

補正後の予算額を前年同期と比較いたしますと、一般会計が6.1%の増、特別会計が0.6%の増、企業会計が0.9%の減で、予算総額では3.3%の増となりました。

今回の補正予算の詳細は、お手元に配布いたしましたとおりであります。

以上が今回の補正予算の概要でございます。